

第33回 神奈川W.Co連合会総会報告

新型コロナウイルス感染症は収束せず、感染拡大の波が繰り返されている中、連合会としては対策を講じながら、徐々に活動を活性化させて来ました。今年度も総会ではリアル参加・書面表決を選べるようにして開催しました。
(常務理事 小林麻利子)

日時 5月27日(金) 13:45~15:35
場所 横浜情報文化センター

総会代議員数:128名中 出席:33名
書面表決書:83枚(成立必要代議員数:86名)

司会進行 吉川理事 議長 寺澤京子(W.CoACT)・森和泉(W.Coたすけあい磯子)
議事録署名 畦地直美(W.Coキッズポケット)・藤田美佳(W.Coたすけあい磯子)
書記 野田幸恵(連合会事務局)・紀岡麻子(共済W.Coスマイル)
議事運営委員 渡部市代(W.Coカフェソーレ)・栗田泰(W.Coらら・むーぶ港北)
選挙管理委員 高橋康子(W.Coひまわり)・酒井チエ子(企業組合エコ・アド)

第1号議案 2021年度活動報告の承認

賛成:116票・反対:0票

- ▶組織や事業性の困難を抱える W.Coが増える中、W.Coの継続と発展を第一優先課題として取り組み、会員 W.Coのリーダーと連合会、そして W.Co同士の関係性を強めるため、地域リーダー会議の主体性を活かす活動を進めた。
- ▶連合会を設立して 30年、会員 W.Coが連合会に求める役割や機能も変わってきているため、「組織・機能のあり方検討プロジェクト」を設置し、連合会のあり方について検討を進め、中間答申を提案した。
- ▶WNJ 全国会議を 2022年 2月に横浜でオンライン開催し、全国から多数の参加があった。
- ▶「労働者協同組合法」(ワーカーズ法)の施行に向けて、働く人の協同組合である W.Coの価値を再確認し、W.Coの認知を高めていく機会として内外に情報を伝えた。
- ▶これからの中間支援組織形成に向け、生活クラブ生協・(特非)W.Co協会・連合会(ワーカーズ法対応の連合組織準備会)と共に「神奈川・ワーカーズコレクティブ運動推進協議会」を設置し報告書をまとめた。
- ▶継続課題となっているメンバー募集活動を多様に行った。第2期 W.Coという働き方を広げるキャンペーンを県内19か所で「地域で働く説明会」として開催。21名が W.Coに加入した。また、完全予約制で11/8に「わくわくワークフェスタ2021」を開催。Zoomを活用したオンラインによる説明会も初開催。

しかし、加入につながりにくい業種もあり、対策が必要。

- ▶「神奈川ワーカーズ・コレクティブ実態調査報告書」検討チームを設置し、貴重なデータである「実態調査報告書」が会員 W.Coにも読みやすく、分析や活用がしやすくなるように検討し、1月理事会に「まとめ」を提出。
- ▶共育・研修は、持続可能な W.Coの形成と発展のために必要な機能のため、委員の負担軽減を探りつつ、開催方法の変更を検討した。また、経営や組織運営に悩む単体 W.Coのトップリーダーを対象とした「理事長・代表のための経営学習会」を今年度より共育講座として企画化し、10月より4回シリーズでオンライン開催した。

介護保険制度検討チーム

2021年度は①BCP(事業継続計画)の学習とひな形作成②ICTの学習と対応できるよう W.Coに働きかけ③加算に伴う実地指導への対応のポイントなどの3つの大きなテーマを決めて活動を進めた。

部門連携連絡会

かながわ福祉移動サービスネットワークに講師を依頼し、食のW.Coに「業務で車を使う W.Coのリスクマネジメント」として運転実技研修を呼びかけ、4 W.Co計6回実施した。

▶加入:2団体 脱退:6団体
期末合計:121団体(メンバー数:3,502名)

質問 連合会は中間支援組織となっているが、中間は何と何の間なのか?

回答 国や行政との間という意味と、いろいろな団体とコーディネートをしている意味もある。

意見 事業復活支援金の情報もらい、申請した。申請には税理士による事前相談が必要で、連合会に問い合わせたところ、連合会の顧問税理士にお願いすることができ、専門家の必要性を実感した。

回答 今回、つなげることができてよかった。連合会の機能が知られていない面があるので、活用を呼びかけ、引き続き事業・組織運営に活かせる情報収集を進め、発信していきたい。

意見 連合会には各W.Coの支援を強めて欲しい。

質問&意見 部門会議の「生協まちづくり」部門は必要なのか。「まちづくり」という意味では、地域W.Coリーダー会議で進めていけるのでは…「生協」というくくりでは、生活クラブPC(パートナーシップ促進センター)で集まっているので、もう少しシンプルな活動にした方がよい。

回答 「生協まちづくり」部門は、主に生活クラブ・福祉クラブから委託を受けて事業を行なっているW.Coの業種別会議で、生活クラブの職員・組合員とともに形成しているPCの構成団体以外のW.Coも所属している。部門会議については、「組織・機能のあり方PJ」で引き続き検討していくが、各部門会議でも今後どのような集い方が必要か主体的に検討していく。

意見 会議がZoomになったことで欠席が減ったが、一方で参加者同士の意見交換にうまく入っていかず、実参加が有効と感ずる。

回答 ご指摘のとおりで、2021年度に解散した団体が3W.Coあり、顔を合わせる機会がもつとあれば解散を防げたかもしれない。当面オンライン併用はやむを得ないが、実参加を増やせるよう働きかける。

質問 連合組織のあり様・システムなどを大幅にスリム化し、会費の整理を早くして欲しい。毎年検討会議があっても見えてこないのはなぜ?

回答 2021年度9月から連合組織としての機能や役割を強めるために、会費も含めた検討を「組織・機能のあり方検討PJ」で進めている。会議のスリム化と会費のあり方については、PJで最終答申を提案していく。

第2号議案 2021年度決算報告の承認

賛成:116票・反対:0票

▶会員会費事業

収益の部
「会員会費収益」は執行率91.9%。会費のうち人数比例分1,897,400円を返還。「講座収益」は計画より参加が少なかったことが要因で執行率57.0%だったが「学習会」は部門会議を中心に活発に開催され、昨年度の4倍、執行率93.8%。「書籍収益」は、執行率213.4%。運動グループを中心に連合会30周年・協会15周年の記念誌等の購入が要因。

費用の部

理事会主催で SDGs 学習会を行い、講師謝礼の執行率が133.6%。「ウイルス対策ソフト費」はソフトの更新と、パソコン台数増加のため、費用も増加。「備品費」「その他」は、オンライン併用の会議が増えパソコン2台の購入費用。

▶W.Co基金

基金委員会からの寄付依頼の手紙送付などの働きかけにより、寄付額約108万円。(予算比108%)

質問・意見なし

第3号議案 2021年度会員会費事業及びW.Co基金剰余金処分案の承認と監査報告

賛成:116票・反対:0票

会費事業の次期繰越金は、14,171,908円

W.Co基金の次期繰越金は、2,506,024円

質問・意見なし

第4号議案 2022年度活動方針の決定

賛成:116票・反対:0票

▶基本方針

格差・貧困が広がる今が地域を変えていくチャンスととらえ、生活クラブ生協を始めさまざまな団体と連携し、「協同労働」の価値を発信し、W.Coの社会化を推し進める。また、「労働者協同組合」の法人格を取得する団体を支援する。「神奈川・ワーカーズコレクティブ運動推進協議会」でまとめた「W.Coを真ん中におく地域社会づくり」の共有ビジョン実現に向け新たな中間支援組織創出の具体的な検討を進めると共に「組織・機能のあり方検討プロジェクト」を継続。

質問 連合会として、今後オルタナティブオンラインをどのように進めていこうと考えているか?介護業界もICT化に伴い、このままオンラインを継続してよいのか、情報がなく困っている。

回答 理事会の基にある介護保険制度検討チームを強化し、ワーキングチームを設置して、介護の業種ごとに調査やヒアリングを進めている。オルタナティブオンラインを継続するかは、生活クラブにも提案し、連携しながら考えていく。

第5号議案 定款の一部改定

賛成:116票・反対:0票

連合会の運営・責任体制を強化していくことが必須のため、定款第5章 第27条の副理事長の定員を1名から3名とする。に改定。

質問・意見なし

第6号議案 2022年度予算の決定

賛成116票・反対:0票

▶会員会費事業

収益の部
2021年度の各 W.Coの新型コロナウイルス感染症による事業への影響を鑑み、2021年度実績より36万円ほど少なくなる予算立て。「業務受託収益」のうち「共済業務受託」は、今年度6月から8%に減額

費用の部

「旅費交通費」「部門会議活動費」「地域W.Coリーダー会議」の交通費は、オンラインでの参加も定着したため、それを考慮した予算立て。「部門会議活動費」に「学習会費用」を1部門2万円を目安に予算化。「顧問料」は、今年度5月から社会保険労務士との顧問契約で、24万円ほど増額。

▶W.Co基金

個人寄付が広がってきたが、団体としての相互扶助が大切なため、昨年同様に目標額は団体90万円、個人10万円

質問 36万円ほど少ない予算には思えないのと、定款の変更で副理事長を増やせるようにしたが、会費との兼ね合いで人数は考慮していくのか。

回答 36万円は、人数比例分を返却しなかった場合の金額に対して。副理事長の人数も含めて、人事は課題と収入に合わせて考えていく。

質問 繰越金が多いが、今後活用について検討していくのか?

回答 「ワーカーズ法対応の連合会」にはワーカーズ法の法人しか加入できないなど、新たな中間支援組織を作るときには連合会のあり方が大きく変わるので、今後は事務所移転などもあり得る。繰越金の活用については検討していくことになる。

第7号議案 役員選挙

賛成110票・反対1票

理事…継続12名、新任6名 監事…継続2名、新任2名(福祉クラブ枠含む)が承認されました。新役員はうえい7月号でご紹介します。

お知らせ 退任役員

理事 小島さり子・城戸裕子・島田文子・吉川礼子
山内女久美・高橋静子・瀬下章子・菊地和美
監事 白尾有紀・三和和子(福祉クラブ枠)